

簡易な収入見込額の申立書 (申請者本人用)

- 「令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯分) 申請書 (請求書)」と一緒にご提出ください。
 - 下記にある【要件1】及び【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。
- ※申請者と生計を同じくする扶養義務者がいる場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

① 下記のチェック欄 (□) にチェック (☑) を入れてください。

□ 食費等の物価高騰の影響により、家計が急変しました。

→ 【要件1】 ①にチェック (☑) が入っていること。

※申請者又は申請者と生計を同じくする以下の方が食費等の物価高騰の影響で、収入が減少した場合にチェックしてください。

- ・申請者の配偶者
- ・申請者の父母、祖父母、子、孫等の直系血族又は兄弟姉妹 (申請者本人が児童の父又は母の場合は、これらの方が申請者と同居していることが原則となります。)

※上記の申請者と生計を同じくする方がいる場合には、「簡易な収入見込額の申立書 (扶養義務者等用)」も併せてご提出ください。

② 申請者の令和5年1月以降の任意の月の収入 (1か月分) の内訳及びその合計額をご記入ください。
離婚等によりひとり親世帯となられた方は、その後の任意の月の収入 (1か月分) で合計額を計算してください。

令和	年	月分	金額 (月額)				円	注意事項
		養育費 【A】					円	※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
		給与収入 【B】					円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類の写し (コピー) をご提出ください。
		事業収入又は 不動産収入 【C】					円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類の写し (コピー) をご提出ください。
		年金相当収入【D】 (a - b)					円	※「年金収入【a】 - 児童扶養手当相当額【b】」で計算した額をご記入ください。
		年金収入 【a】					円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額が分かる書類の写し (コピー) をご提出ください。
		児童扶養手当 相当額 【b】					円	※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。
		収入合計額 【A+B+C+D】					円	※A、B、C、Dの収入額の合計額をご記入ください。

※上記以外の収入については記入不要です。

※児童扶養手当相当額【b】に記入する数値は、下の早見表の内、該当の支給額 (月額) をご記入ください。

申請日時点での児童数	支給額 (月額)
児童数 0人	0円
児童数 1人	10,160円
児童数 2人	15,250円
児童数 3人	18,300円

児童が4人以上いる場合は、1人増えるごとに「3,050円 (月額)」を加算してください。

×12

1か月分の収入合計額を年間の見込額とします。

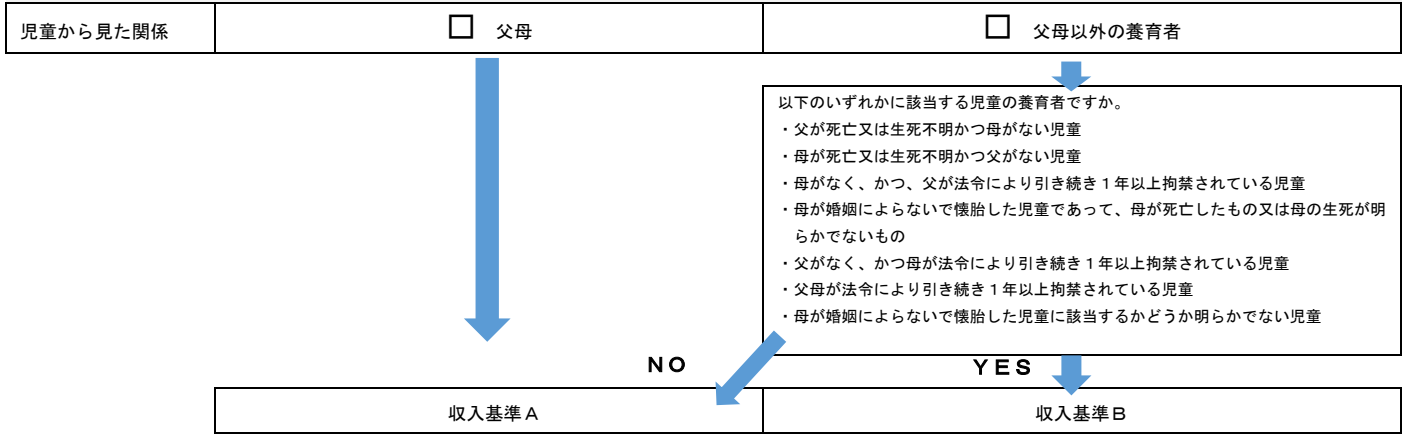
③ ②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額							円
---------	--	--	--	--	--	--	---

(次ページに続きます)

④ 要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。



(2) 申請者が生計を同じくし養っている親族又は養っている親族以外の児童の氏名等をご記入ください。

収入基準 A の方				収入基準 B の方		
No.	フリガナ	該当する場合は◎又は○		No.	フリガナ	該当する場合は○
	氏名	16歳以上23歳未満の親族(◎)	70歳以上の親族、配偶者(○)		氏名	70歳以上(配偶者以外)の親族
1				1		
2				2		
3				3		
4				4		

(3) (2) で記入した方の人数にチェック (✓) を入れてください。

チェック欄	(2) の人数	基準額	チェック欄	(2) の人数	基準額
	0人	3,114,000円		0人	3,725,000円
	1人	3,650,000円		1人	4,200,000円
	2人	4,125,000円		2人	4,675,000円
	3人	4,600,000円		3人	5,150,000円
	4人	5,075,000円		4人	5,625,000円
	人	円		人	円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(4) 要件に該当するかの計算を行ってください。

<p>i (3) で選択した基準額 _____ 円</p> <p>ii (2) の「◎」の数×150,000円 _____ 円</p> <p>iii (2) の「○」の数×100,000円 _____ 円</p> <p>収入基準額 (i + ii + iii) _____ 円</p> <p style="text-align: center;">V</p> <p>年間収入見込額 (表面の③) _____ 円</p>	<p>i (3) で選択した基準額 _____ 円</p> <p>ii (2) の「○」の数×60,000円 _____ 円</p> <p style="text-align: center;">(全員が○の場合は、○の数を1つ減らして計算)</p> <p>収入基準額 (i + ii) _____ 円</p> <p style="text-align: center;">V</p> <p>年間収入見込額 (表面の③) _____ 円</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

→ 【要件2】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。

※表面の【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。